



育てようとする資質能力態度		内容				評価の観点
		学年	課題	学習対象	学習事項	
学習方法に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 問題状況の中から課題を発見し、課題解決のために必要な情報を収集し分析する。 相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現する。 学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとする。 	3	地域自慢・情報発信	内外海の自然、伝統的建造物、内外海の伝統行事	内外海の自然、伝統文化、行事等を調査し、他地域と比較したりすることによって、そのすばらしさを再発見・認識し、それらを地域に発信する。	<ul style="list-style-type: none"> 問題発見力 構想力 調査研究能力 コミュニケーション能力 自己表現力 評価力 生き方の探求
他者や社会とのかわりに関すること	<ul style="list-style-type: none"> 他者と協同して課題を解決する 異なる意見や他者の考えを受け入れる。 課題の解決に向けて地域の人々と積極的に関わろうとする。 	4	地域の特産物福祉情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 内外海の特産品 内外海の産業 福祉活動 	地域の特産品やそれにかかわる方々の思いや、障害と障害を持った方々の思いを知り、自分達にできることを探り、発信・実行する。	
自分自身に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 目標を設定し、課題の解決に向けて行動する。 自らの在り方を見直し実践する。 	5	地域の産業食情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 内外海の農業 内外海の水産 内外海の観光 	<ul style="list-style-type: none"> 米／野菜作り活動を通して地域の農業について考える。 わかめ作り活動を通して地域の水産業について考える。 内外海の観光について調べ、将来の内外海について考える。 以上を通して内外海の素晴らしさを知り、発信する。 	
		6	地域の自然・歴史・文化・食・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 内外海の歴史 情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 調査活動や体験活動やを通して、内外海の歴史を学ぶ。 内外海のすばらしさを修学旅行でPRする。 内外海の将来について考え、発信・実行する。 	

学年	学習活動
3	内外海探検隊「ふるさと再発見」(40時間) 地域に発信しよう(30時間)
4	内外海の恵みについて調べよう(35時間) 障害について考えよう(20時間) 学習発表会に取り組もう(15時間)
5	内外海の米/野菜作り(15時間) 内外海の水産業(15時間) 内外海の観光業(10時間) 内外海の産業をPRしよう(10時間) 学習発表会をしよう(10時間) レポートを書こう(10時間)
6	内外海の歴史(35時間) 修学旅行で内外海のPRをしよう(20時間) 学習発表会に取り組もう(10時間) 小学校生活を振り返ろう(5時間)

指導方法
<ul style="list-style-type: none"> ○課題意識を喚起する指導方法の工夫 ○各教科、領域との関連を意識した学習活動の展開 ○言語活動を積極的に取り入れた学習活動の展開 ○対話やコミュニケーションを重視した学習活動の展開 ○発達段階に応じた体験活動の充実

学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ポートフォリオを活用した評価の充実 ○学習活動の観察による評価 ○レポート、ワークシート、ノート、作文、絵などによる評価 ○自己評価や相互評価による評価

指導体制
<ul style="list-style-type: none"> ○担任による指導を中心としながら、必要に応じて担任以外の教職員による支援体制を確立する。 ○地域の人材教材を活用する。 ○他校との交流を深める